

令和7年度 社会福祉法人しいの木会 事業報告

1. 法人全体

(1) 「しいの木会中長期計画」の具体化を図った。

- ・隣接地の土地購入は地権者との協議が行われず断念した。
- ・ホームどんぐりについて、土地の借用期間が令和10年3月末となっているため、購入に向けて不動産調査を行った。
- ・生活介護利用者を対象に入浴サービスを実施するため、生活介護棟にユニットバスを設置する施工業者は万葉建設、併せて井戸貯水槽増設工事をエス・エス・エスと決定した。

令和8年度の夏ごろに入浴サービス実施を目指している。

- ・令和9年度を目標に、就労継続支援B型定員を10名、生活介護定員30名とするため、就労継続支援B型新作業棟建設の施行業者を万葉建設と定めた。

(2) 利用者利用率の向上と新規利用者の獲得のため、広報・営業活動を行った。

- ・5月15日、槇の実特別支援学校の先生・生徒総勢30名が来所し、事業所見学会を行った。各部署の担当より活動内容を説明した。
- ・6月28日、特別支援学校の生徒を招き「M o c F e s」を実施した。イベントでは菓子作り体験や、ゲーム等を楽しんでもらった。

参加者7名中1名が令和8年4月1日より新規利用となった。

- ・市原特別支援学校・市原特別支援学校風の丘分校・槇の実特別支援学校へ訪問し、職場実習を積極的に受け入れた。

実習生15名中2名が令和8年4月1日より新規利用となった。

- ・11月25日に槇の実特別支援学校保護者向け見学会を行い28名が参加された。

(3) 法令順守

① 令和7年度義務化、グループホーム「地域連携推進会議」を実施した。

- ・11月1日、ホームどんぐり・ホームたんぼぼ 地元町会長、民生委員、市役所職員、福祉関係者、保護者、利用者を委員とした会議を実施し、会議録をホームページに公表した。

② 社会福祉法人が担う社会貢献活動について

- ・三和地区の学校運営協議会の委員として年間3回の会議に参加した。併せて海上小学校行事（運動会、発表会、卒業式）に参加した。
- 小学校の職場見学を予定したが、当日法人監査のため実施できなかった。

(4) 設備更新（エアコン・電灯のLED化等）

- ・千葉県補助金を利用し更新する方向で、施行業者を決め申請したが、業者のミスにより令和7年度の設備更新は実施できなかった。令和8年度に再度申請する。

(5) 走行距離の多い送迎車の更新をした

- ・令和7年11月、JKA（競輪・オートレース）補助事業で得た補助金を元に購入したハイエース（車いすリフト車10人乗り）と、令和6年度に注文したハイエース（ワゴン車10人乗り）が納車された。
- ・旧車両は予備車両として活用している。

(6) 役員会等は年間計画に従って実施した。併せて、法人の事業に対して適切なガバナンスを発揮した。

(7) 役員会の実施

実施日	種別	参加者	決議事項
5月12日	評議員 選任・解任 委員会	監事1名 外部委員1名 事務局1名 理事1名	・委員長の互選 ・評議員の選任
6月4日	理事会	理事6名/6名 監事2名/2名 会計責任者1名	・令和6年度事業報告および決算の承認 ・令和7年度第一回補正予算の承認 ・理事・監事・評議員候補者の承認 ・評議員選任・解任委員の承認 ・評議員会提出議題（案）の承認
6月14日	評議員会	評議員4名/7名 理事3名 会計責任者1名	・令和6年度事業報告および決算の承認 ・令和7年度補正予算の承認 ・理事・監事の承認
6月14日	理事会	理事6名/6名 監事2名/2名 会計責任者1名	・理事・監事の承認 ・理事長選任
11月19日	理事会	理事6名/6名 監事2名/2名 会計責任者1名	・補正予算の承認 ・定款施工細則の改定 ・経理規定の改定 ・中長期計画の進捗状況報告 ・市原市法人監査報告
11月29日	評議員会	評議員5名/7名 理事3名/3名 会計責任者1名	・補正予算の承認 ・役員等経理規定の改定 ・中長期計画の進捗状況報告 ・市原市法人監査報告
3月11日	理事会	理事6名/6名 監事2名/2名 会計責任者1名	・補正予算の承認 ・令和8年度事業計画および予算の承認 ・新作業棟建築と浴槽設備設置について ・グループホーム施設長の退任・選任 ・給与・退職金規定の改定
3月21日	評議員会	評議員7名/7名 理事3名/3名 会計責任者1名	・補正予算の承認 ・令和8年度事業計画および予算の承認 ・新作業棟建築と浴槽設備設置について ・グループホーム施設長の退任・選任

2. シーモック事業

- ・利用者の人数や特性に合わせ職員を適正に配置することで事故防止に努め、大きな事故の発生はなかった。軽微のトラブルについては事故報告書を共有することで再発防止に努めた。

(事故報告書 20 件、ヒヤリハット 2 件)

- ・菓子製造機械を使った菓子製造を試作し、令和 8 年度以降のバザー等への提供を目指している。
- ・菓子販売は学校行事、注文販売、インターネット注文等ある程度は年間を通して安定的な販売ができるようになってきている。
- ・菓子製造以外の活動については、利用者個々の状況に合わせた活動を模索してきたが、個々の理解力や運動能力等の差が大きく苦慮しており、次年度の課題となった。
- ・特別支援学校からの見学や実習を精力的に受け入れたことで、4 月 1 日より新規利用者を 3 名受け入れることができた。実習は日中一時支援サービスを利用してもらうことで収入増にも繋がった。

(1) シーモック各部署について

① 就労継続支援 B 型 (定員 30 名)

ア) スイーツワーク (菓子製造)

- ・菓子製造以外の活動については、利用者個々の状況に合わせた活動を模索してきたが、個々の理解力や運動能力等の差が大きく苦慮しており、次年度の課題となった。
- ・非常勤職員を 2 名配置増とすることで働き方の改善や効率的な製造方法を求めてきた。今後も精査していきたい。

イ) ピースワーク・ベジワーク

- ・受注作業は、仕事量が安定して確保することができず作業種の選定が必要である。屋外での歩行活動は、利用者の体力低下予防の観点から有効な取り組みであり、継続していきたい。
- ・野菜栽培は、豆類、じゃがいも、夏野菜を選定し取り組み概ね好評を得た。ただ、夏期間 (5 月～10 月) については、暑すぎるため活動困難となった。歩行活動については、利用者の健康状態を考慮しピースワークと合同で取り組んだ。

<年間の平均実利用者数> 1 日当たり 30.7 名 【30.7 名】 【 】は令和 6 年度

- ・スイーツワーク (利用者 17 名)
- ・ベジ・ピースワーク (利用者 25 名) ※生活介護 2 名含む

② 生活介護 (定員 7 名)

- ・リサイクル活動や創作活動等、の活動に加えリフォーム会社から委託を受けポスティング作業を取り入れ、歩行活動と併せて少額であるが収入を得る活動を新規で行うことができた。

- ・エコワーク作業棟横に小規模の畑を耕し、夏野菜栽培を行った。除草作業や水かけ作業など楽しみながら取り組むことができた。
- ・上記の売上金を基に毎月 1 回お楽しみ会を実施した。

＜年間の平均実利用者数＞ 1 日当たり 8.6 名 【8.3 名】 【 】は令和 6 年度

- ・エコワーク（利用者 10 名）

（2）相談支援事業

サービス等利用計画書の作成やモニタリングを行い、利用者一人一人のニーズに適切に対処した。特に今年度は 2 件の困難ケースにも取り組み、自宅からグループホームへ移行するケースでは、行政や他福祉事業所と協力・調整を行い対処した。今後は相談支援専門員の増員も検討していく。

（3）日中一時支援事業

- ・月に 2 回、土曜日に余暇活動として実施した。8 月に天候不良により 1 日中止した他は計画どおりに実施した。
- ・緊急利用としての受け入れを行った。
- ・特別支援学校職場実習 18 件を日中一時支援事業として受け入れた。

3. グループホーム事業

（1）共同生活援助

- ・今年度から、地域連携推進会議が義務化され、11 月に地域の方を招き実施した。今後は、近隣の方々との協同的な取り組みを模索していく。
- ・グループホームにシーモック職員が支援に関わる機会が増えたことにより、支援の連携が図れた。
- ・ホームたんぽぽは 5 月に 1 名、ホームどんぐりは 12 月に 2 名入居し満床になった。

（2）短期入所

12 月にホームが満床になり、空床型短期入所の為、当面は休止する。